

レバー自動施錠 取付説明書



このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
 製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。
 引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。
 締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

姿 図													
名 称	ボタン側本体	室内座	カバー	本体スペーサー	レバーハンドル	ADS 錠 set	受座 set	本体固定ねじ 長さ35mm	錠・受座取付ねじ 長さ 25mm	六角穴付きねじ 長さ30mm	六角レンチ	取扱説明書set	キー
数 量	1	1	1	1	2	1	1	3	4	2	1	1	2

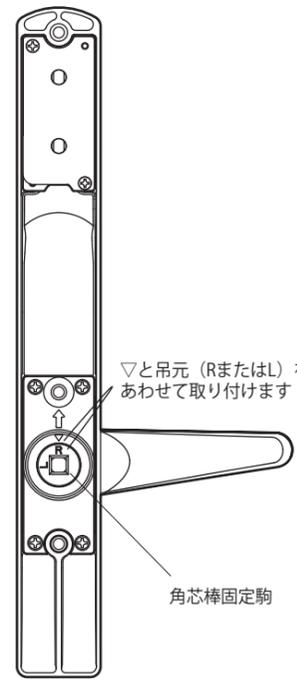
取付前の準備： 扉の吊元にあわせて、各部材をセットします。吊元は、室外側から見て、扉の丁番が右か左のどちらについているかで判断します。
 作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください（クサビ等で扉を固定するとよい）

各部の名前と働き

ボタン側本体

室内座

室内座裏側



右吊元 (外開き・内開き)

I：ボタン側本体とレバーハンドルを
セットし、六角穴付きねじで
固定する。

II：室内座とレバーハンドルをセットし、
六角穴付きねじで固定する。

III：室内座裏側の▽とRをあわせる。

角芯棒固定駒を回し、▽とRをあわせる

左吊元 (外開き・内開き)

I：ボタン側本体とレバーハンドルを
セットし、六角穴付きねじで
固定する。

II：室内座とレバーハンドルをセットし、
六角穴付きねじで固定する。

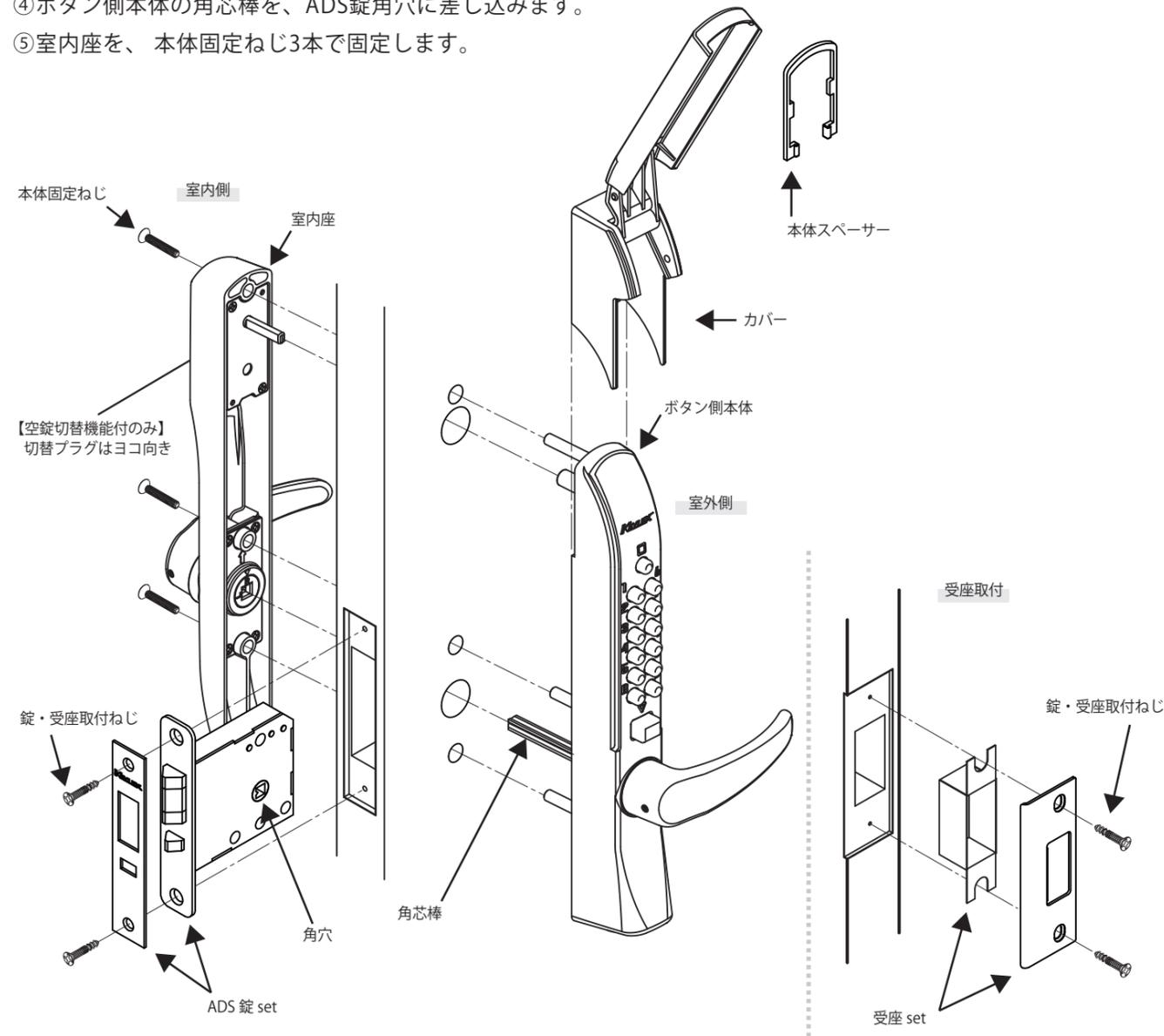
III：室内座裏側の▽とLをあわせる。

角芯棒固定駒を回し、▽とLをあわせる

キーレックス本体の取付穴加工をします (キーレックス本体の切欠図は別紙参照)

キーレックス3100の取り付け

- ①ADS 錠 set を、錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます。
- ②受座 set を、錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます。
- ③右ページの取り付け図を参照し、カバーまたは本体スペーサーを取り付けます。
- ④ボタン側本体の角芯棒を、ADS錠角穴に差し込みます。
- ⑤室内座を、 本体固定ねじ 3本で固定します。

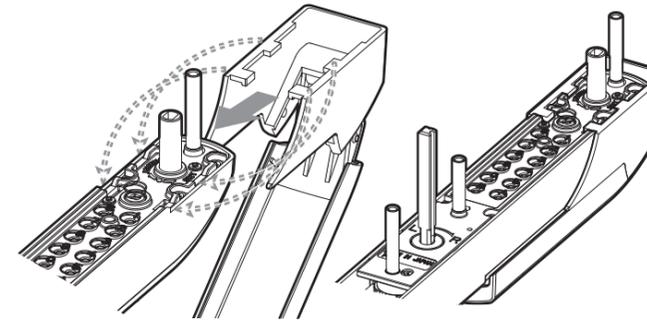


本図は右吊元仕様です。左吊元は対称です。

作動確認： レバーハンドルが作動しない場合は、吊元設定及び取付時設定状態をもう一度確認してください。

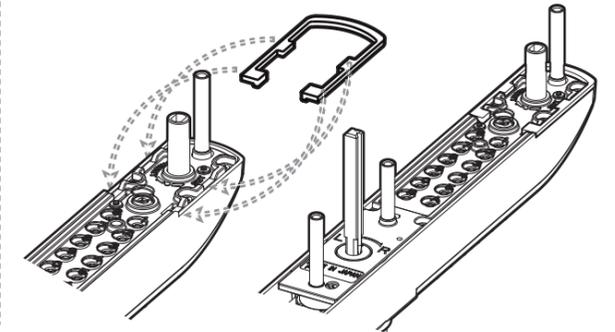
カバーの取り付け

カバーを開けた状態で本体に上からかぶせ、カバー裏側の凹凸を室外側本体の裏側のくぼみに合わせてはめ込んでください。



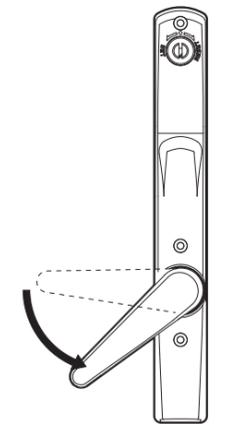
カバーを使用しない場合

本体スペーサーを室外側本体の裏側のくぼみに合わせてはめ込んでください。



解錠方法

室内側 レバーハンドル操作で解錠できます



施錠
扉を閉めると、自動で施錠されます

室外側

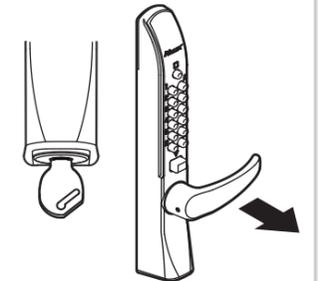
- ① リセットボタンを押す
 - ② 現在の記憶番号を押す
 - ③ エンターボタンを押す
 - ④ レバーハンドル操作で解錠できます
※ エンターボタンを押しながらハンドル操作をしないでください
- ※ 本図は右吊元仕様 (左吊元時は対称)

施錠
扉を閉めると、自動で施錠されます
※ 施錠時にレバーハンドルを操作すると空転します

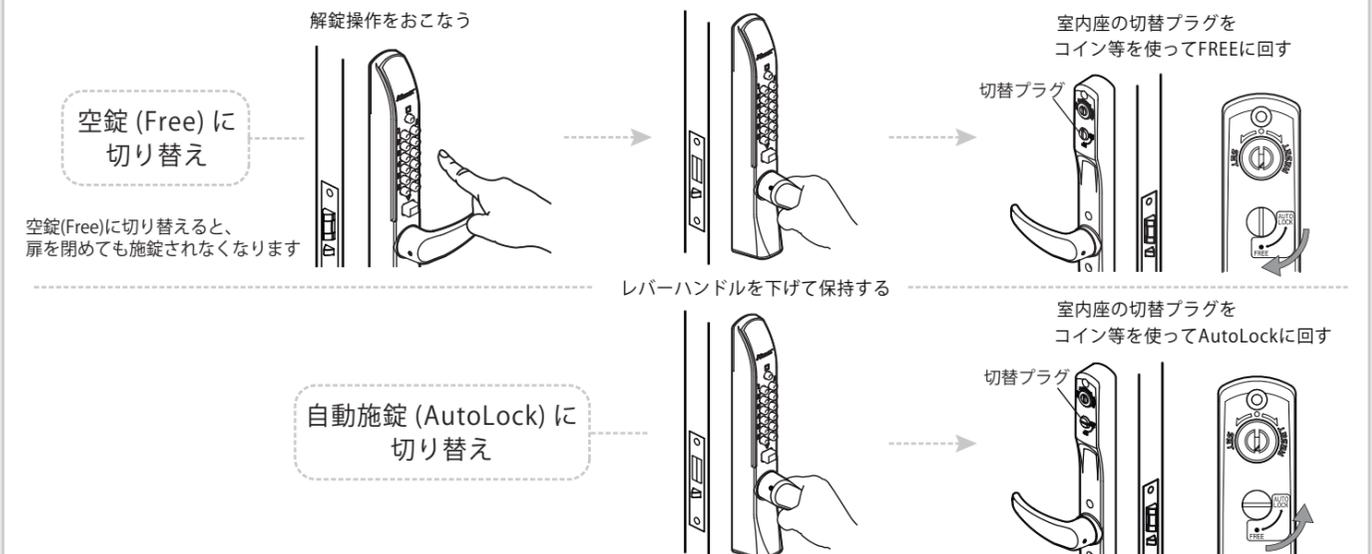
鍵付きタイプの場合

記憶ボタン操作を行わず、キー操作でも解錠できます

底部シリンダーにキーを入れて回し、そのままレバーを引いて開扉します。



空錠(Free)・自動施錠(AutoLock)の切り替え方法 空錠切替タイプ(オプション)の場合に使用できる機能です。



株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) FAX. 03-5967-3103
 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代) FAX. 092-524-7032
 大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代) FAX. 06-6783-5092

www.nagasawa-mfg.co.jp